本校は、令和 3 年度から県教育委員会が実施する「オンリーワン・ハイスクール」事業のグローカル・ハイスクール（Ⅰ類）に指定されています。

【オンリーワン・ハイスクールとは】

多様なニーズを持つ生徒が在籍する普通科の改革を推進するため、改革に取り組む学校を県教育委員会が指定するもの。

取組テーマにより、以下の区分で指定される。

〇イノベーション・ハイスクール：文系・理系をバランスよく学ぶリベラルアーツの推進

〇アカデミック・ハイスクール：SDGs 等学生的・領域横断的な新たな社会課題の探究

〇グローカル・ハイスクール：地域協働による地域社会の課題解決に向けた探究

〇フューチャー・ハイスクール：過疎地域等の小規模校の地域に開かれた学校づくり

なお、「Ⅰ類」は公募により有識者会議の議論を経て実施校を決定し、「Ⅱ類」は県教育委員会の重点取組をテーマとして示し、実施校を指定している。

【本校がオンリーワン・ハイスクールとしてめざす学校像】

現状の諸課題を解決し、教育目標である「RSB Strategy」と呼ぶ、校訓**「正しく(Right)、強く(Strong)、明るく(Bright)」**を基本に、「吉高 Spirit」[*1] を持って**未来を切り拓いていく人材**になるための 5 つの力[*2] を身につけることである。そのための重点目標は、キャリア教育を通して、想像・創造力を育て、**グローカルに社会に貢献できる表現・実行力を持った人材**を育成する。

吉高 Spirit[*1]：「自分を信じる心」「相手を認める心」「社会の役に立とうとする心」 5 つの力[*2]：自己肯定力、分析・思考力、想像・創造力、共生力、表現・実行力

【３年間の事業計画・目標】

＜令和３年度＞

・学校経営計画の実施と次年度に向けた吟味【教員】

・授業改善サポート研修への協働による授業力向上と学習評価の研修【教員】

・総合的な探究の時間と特別活動の見直しと試行【教員】

・国際科、地域との連携【教員】

・組織開発のためのミドルリーダー育成【管理職】

・教職員の業務量の適切な管理、教職員の労働衛生管理等の見直しと実施【管理職】

・オンリーワン・ハイスクール事業の見直しと推進【管理職】【教員】

＜令和４年度＞

・授業改善サポート研修への協働による授業力向上と学習評価の実施【教員】

・新たな総合的な探究の時間と特別活動の実施【教員】

・国際科、地元自治体等との連携による活動の推進【教員】

・学校における働き方改革に向けた取組みの実施と組織開発のためのミドルリーダー育成【管理職】

・オンリーワン・ハイスクール事業の見直しと推進【管理職】【教員】

＜令和５年度＞

・オンリーワン・ハイスクール事業の推進【管理職】【教員】

・国際科、地元自治体等と連携した活動の発表【教員】

・授業改善サポート研修への協働による授業力向上と学習評価の改善【教員】

・新たな総合的な探究の時間と特別活動の実施【教員】

・学校における働き方改革に向けた取組みの実施と組織開発のためのミドルリーダー育成【管理職】

【主な取組】

1　校内研修、授業改善・新入試制度検討委員会

　次期学習指導要領対応授業改善サポート研修を中心に、公開授業等の機会をとおして、授業改善と学習評価の検討と試行をする。

2　校内チーム研修と教育課程検討委員会

　総合的な探究の時間と特別活動の見直しにより、新しい指導計画に則った今年度内の試行と来年度以降の指導計画を作成する。

3　年次別研修のチーム研修

ミドルリーダー育成のための中堅研・７年研のチーム研修に人材開発・組織開発の研究の成果を応用する。

４　人材開発、組織開発の推進

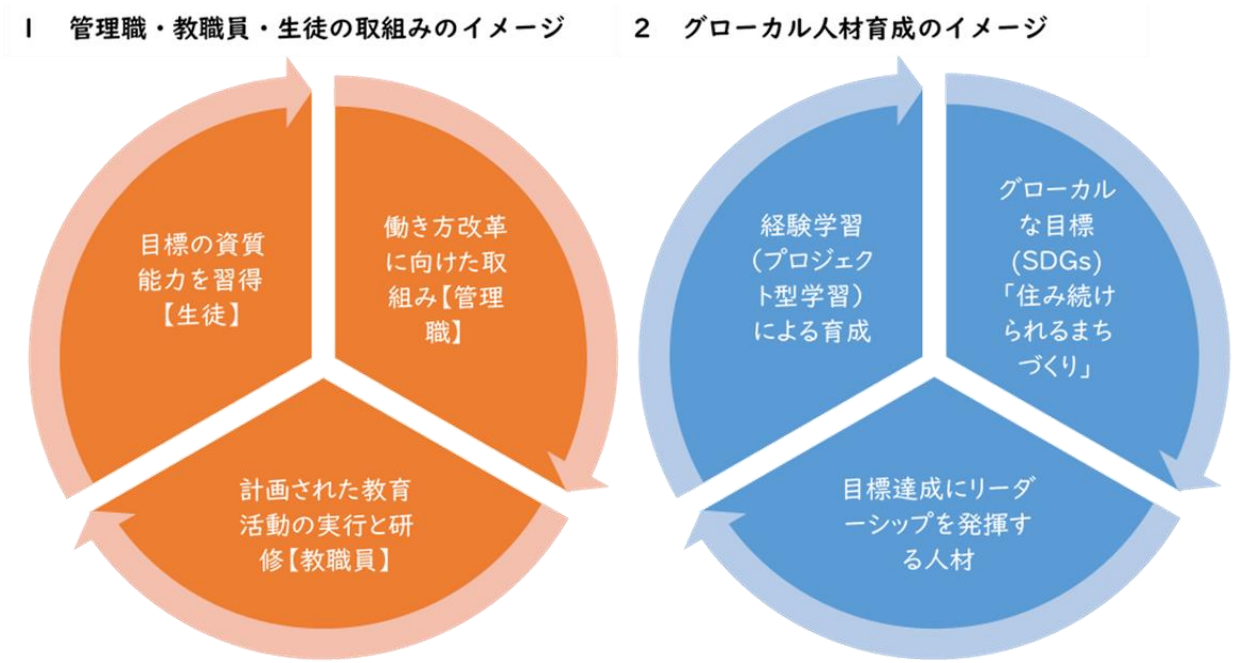
教職員のモラールの向上と組織体制の確立のためにリーダーシップ開発、アクションラーニングを導入する。

５　校内コンプライアンス委員会及び職員安全衛生委員会

「令和２年度学校の働き方改革推進プロジェクト」での反省点を踏まえ、「業務量の適切な管理」と「教職員の労働安全衛生管理」の実施を行う。

オンリーワン・ハイスクール事業イメージ資料（吉原高校）

次の２つのサイクルを両輪として３年間回していくことにより本校の計画の目標を達成する。



令和３年度の具体的な取組み例（吉原高校）

１　管理職の取組み

- 働き方改革に向けた取組みとして「学校運営支援員モデル校事業（H28,29）」のその後の取組みを調査した「令和２年度学校の働き方改革推進プロジェクト」での反省点を踏ま

え、「業務量の適切な管理」と「教職員の労働安全衛生管理」の実施【管理職】・【校内コンプライアンス委員会】・【職員安全衛生委員会】

- 教職員のモラールの向上と組織体制の確立のために、人材開発、組織開発、マネジメント能力の育成の研究【管理職】

2　教職員の取組み

- 学校経営計画の実行と次年度へ向けた教育活動の吟味【全職員】
- 次期学習指導要領対応授業改善サポート研修を中心にした授業改善と学習評価の検討と試行【研修課】・【授業改善・新入試制度検討委員会】
- **総合的な探究の時間と特別活動の見直し【研修課】・【教育課程検討委員会】**
- ミドルリーダー育成のための中堅研・７年研のチーム研修の実施【管理職】・【研修課】

3　生徒の取組み

- 台湾・オーストラリア等の高校との（オンライン）交流、派遣受け入れ【国際科】
- 異文化体験（２週間のオーストラリア研修、１年間の海外語学研修）とその発表（「プロフェッショナルへの道」事業の活用予定）【国際科】
- 重点的な英語４技能の育成（３年間のコアスクール事業の反省を踏まえた取組み）【国際科】
- **総合的な探究の時間を活用した探究活動の実施【普通科・国際科】**
- ボランティア、大学主催の講座等への参加【普通科・国際科】
- ３年間を見通した自己目標設定とポートフォリオ作成【普通科・国際科】
- エンパワーメントプログラム参加【普通科・国際科】

4　グローカルな目標

- **ＳＤＧｓの目標 11「住み続けられるまちづくりを」包括的で安全かつ強靭で持続可能な都市及び人間居住を実現する【グローバル】**
- **富士市の取組み「人づくりはまちづくり」第５次及び第６次富士市総合計画に基づき、「富士山のふもと　しあわせを実感できるまちふじ」の実現に向けて有能な人材輩出【ローカル】**

【実績報告】

・令和３年度：

・令和４年度：

・令和５年度：